



角 笛 会 会 報

ホームページ: <http://www.tsunobue.org/>

発行所

日本大学生物資源科学部
校友会 角笛会

〒252-0880

藤沢市亀井野1866

0466-84-3633



巻頭のご挨拶

角笛会会長 鳥海 弘 (昭和50年卒)

監事に直井昌之氏 (昭和59年卒)、佐藤雪太教授、常任幹事も約半数近くの6名が交代。事務局長は鯉江洋教授に、事務局は岡林堅先生、齋藤光芳先生で角笛会活動を運営させて頂きました。

私はこの間に学位記等伝達式、謝恩会、新入生歓迎会等に出席し、また生物資源科学部校友会関係の会議 (幹事会) や他学科の校友会の来賓など想定を超える出席でした。しかし卒業生や新入生との交流は若い年代との交流が出来て有意義な時間でもありました。

本年度の総会は、6月29日 (土) に日本大学獣医学会との合同開催という形で本学において開催されました。平成30年度の事業、決算報告を承認頂き、令和元年度の事業計画、予算を原案通り承認頂きました。議案は第8号議案まで上程され活発に審議されました。本年も1号館1階のフロアを使って3年前から始まった動物病院就職説明会を開催したところ、早期に40病院からの申し込みでスペースが埋まってしまいました。当初は必要経費として参加病院から出展料を徴収する計画でしたが、申し込み開始後に、学部から出展費用の徴収は認めないとの通知を受けましたので、想定外の設営出費となりました。その結果、永年続けてきたANMEC研究助成金と日本大学獣医学会への補助金をカットせざるを得なくなりました。このことは今後の検討課題の一つとなりました。説明会当日は多くの学生が参加し、病院側の説明を熱心に聞き及んでいました。

また長く会長を務めて頂いた中川秀樹前会長を、総会にて学部校友会表彰者候補として推薦することが承認されました。それを受けて7月13日に開催された学部校友会総会にて中川前会長は表彰されました。

現在、角笛会総会と日本大学獣医学会が同日開催となっておりますが、本質は別組織です。本来であれば、両者が一つとなり、もっと大きな組織に拡充させたら良い活動が出来るのではないかと考える次第です。

総会終了後は懇親会が開催され、多くの校友や来賓が出席されました。また将来を担う学生諸君が大勢参加してくれたのは何よりでした。本年度も総会にて承認を頂いた事業計画に基づいて各種事業や準会員 (学生) を支援する事業を執り行ってゆきます。

角笛会は通常事業の他に幅広い活動をしております。また毎年会報を発刊しており大学の近況、全国の校友の動向、クラス会等の情報を皆様に発信しております。会員からの情報はHPを通してお知らせしています。またご要望があれば事務局にご連絡ください。

平成31年2月8日 (金) から10日 (日) にかけて、日本獣医師会獣医学術年学会次大会が、神奈川県獣医師会の担当で新横浜プリンスホテルを会場に開催されました。その初日、隣接する新横浜グレイスホテルにて、角笛会同窓会が開催されました。今回は100名を超す参加がありました。特に大学から多くの教員に参加していただき、参加者も単に懇親を深めるだけでなく多くの情報を得て例年になく賑やかな交流会となりました。今年度は、令和2年2月7日 (金) から9日 (日) にかけて、日本獣医師会獣医学術年学会次大会が有楽町の東京国際フォーラムを会場に開催されます。その開催に合わせ2月7日に角笛会同窓会 (アルカディア市ヶ谷) を開催すべく準備を進めております。例年、日本獣医師会獣医学術年次大会に合わせ全国から多くの校友にご参加を頂いておりますので、今回は是非ご参加され校友との交流を深めて頂きたいと思っております。

第18回日本大学医療系同窓・校友学術講演会が9月28日 (土) 午後、日本大学会館において、今年度は歯学部同窓会の担当にて開催されました。本年度の共通テーマは「スポーツ」で、草野寛一先生 (平成9年卒、日本中央競馬会栗東トレーニングセンター 競走馬診療所 管理課長) に「King of Sports (競馬) を支える科学的な活動の紹介」 (座長: 山谷吉樹教授・獣医麻酔・呼吸器学研究室) と題してご講演を頂きました。他学部の講演は「人」を対象にした内容ですが、「馬」のスポーツを対象にした講演に参加者は大変興味を持って聴講されていました。総合大学である本学の医療系の同窓が集まり共通のテーマを追求することは非常に素晴らしいことです。総合大学である本学であればこそ出来ることです。

本年8月に日本大学校友会本部から3世代にわたる獣医学科卒業生の記事掲載の依頼がありました。3世代にわたり本学獣医学科卒業で活躍中となるとなかなか見つからないものです。事務局で多方面から情報収集を致しましたところ、川畑勝利先生、川畑貴裕先生 (鹿児島県) のご家族様3代目が学生で在学中との情報を得て取材のご承認を頂いたところです。2代続けての本学出身はかなり居られますが3代となるとなかなか居ないものであることを再認識致しました。

本学獣医学科の卒業生は誰もが角笛会会員であります。今現在、角笛会で活動されていない卒業生の皆様には世代を

越えて校友と触れ合い、社会貢献する活動や次世代を担う在校生との交流を共に致しませんか。本学の獣医学科から獣医学部への移行のためにも、特に若い世代の卒業生が角笛会の一員として活動され組織の活性化を図っていただくことをお願いするとともに心よりお待ちしております。



今年4月より、学科主任(2期目)を拝命いたしました昭和61年卒の森友です。会長の鳥海 弘先生を始め角笛会の先生方には、日頃より獣医学科の学生教育、研究活動にご支援とご協力を賜り、誠にありがたく存じております。学科教員を代表して厚くお礼を申し上げます。

当獣医学科は、本年3月に138名の卒業生を送り出しました。そのうちの134名が獣医師国家試験に臨み、128名が合格し、合格率は95.5%と全国平均91.7%を上回りました。本年も多くの獣医師を社会に送り出し、新卒業生は既にそれぞれの就職先で活躍を始めております。また、4月には127(男54、女73)名の新入生を迎え、現在の在籍者数は790(男316、女474)名となりました。

今年3月は、獣医内科学研究室の岡西広樹専任講師と学科事務の佐藤春花さんが退職されました。

一方で、今年4月には、獣医伝染病学研究室に小川健司先生をお迎えしました。また、医動物学研究室の松本淳先生が教授に、獣医衛生学研究室の鈴木由紀先生が准教授に、実験動物学研究室の越後谷裕介先生および魚病/比較免疫学研究室の片倉文彦先生が専任講師に、獣医微生物学研究室の木庭先生が助教に昇格されました。

近年、獣医学教育をめぐる環境はめまぐるしく変化しております。平成26年から全国の獣医大学で“獣医コアカリキュラム”が導入されましたが、これにより獣医学教育科目は、従来18科目であったものが、51科目(19実習科目)と、臨床科目を中心に細分化され、さらに新規科目も増えました。また、昨年度からはすべての5年生が本学動物病院で実習を行うという総合参加型臨床実習も始まりました。そのため、従来からの病院スタッフである臨床系教員および支援獣医師(4名)に加え、昨年10月からは、新たに教育支援獣医師として5名の経験豊富な獣医師を採用し、学生への臨床実習のきめ細かな指導を行ってまいります。

生物資源科学部においては、受験者数が暫減する中、“今後とも選ばれ続けられる大学として、既存の学科の枠組みを越えた改革が必要”との方針が、大矢学部長より示されました。今後、獣医学科としても学部改革に積極的に関与することはもちろんですが、“資格取得を目的とした6年生教育を行う学科”としての立場も理解していただかねばと思っております。

今回は、大学や獣医学教育の近況についてご紹介を致しましたが、何事においても、当獣医学科の教員だけで成し遂げることはできません。角笛会の先生方との交流を深め、折に触れご意見を頂戴し、それを生かしながら教員一丸となって、よりよい教育・研究の環境作りを推進致したいと思います。

角笛会の皆様には一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともにご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

◆◆◆◆◆ 令和元年度角笛会総会・第57回日本大学獣医学会開催 ◆◆◆◆◆

事務局 岡 林 堅 (平成13年卒)

令和元年6月29日(土)、日本大学生物資源科学部1号館121講義室において令和元年度角笛会総会および第57回日本大学獣医学会が開催されました。日本大学獣医学会は永田雅彦担当学会長のもと、10題の一般講演と獣医学科教員5名(山崎純先生、伊藤大介先生、山谷吉樹先生、丸山治彦先生、浅野和之先生)による教育講演「救急医療・先生、急患です!」が行われました。会員52名、学生・ANMEC研修医108名、その他9名と計169名が参加し、内容の充実した学会となりました。



角笛会功労者表彰：田村幸生先生

角笛会総会では鳥海弘会長(昭和50年卒)から挨拶があり、総会に先立ち、諸先生方のご訃報に際し、黙祷が行われました。総会は、遠矢幸伸議長の前進行で審議が行われ、平成30年度事業活動および会計収支報告、令和元年度事業活動および予算案等が審議され、一部議案を除き満場一致で承認され、一部議案については継続審議となりました。角笛会の発展に貢献した角笛会功労者として、新関博夫氏(山形県)、田村幸生氏(群馬県)、小茂田匡央氏(群馬県)、熊倉紘氏(新潟県)、黒田博之氏(富山県)、平原久利氏(宮崎県)、福田陽一先生(本部)の7名に賞



角笛会功労者表彰：福田陽一先生令夫人



角笛会功労者表彰：新関博夫先生

状と記念品が授与されました。総会后、食堂棟3階にて開催された懇親会には、他学科同僚校友会来賓、角笛会校友、大学教員、学部生（準会員）など多数の参加者が集まりました。森友忠昭獣医学科主任（昭和61年卒）の乾杯の音頭で開幕し、にぎやかに談笑するうちに時間が流れ、盛会裏に終了しました。

【第57回日本大学獣医学会プログラム】

会 長：亘 敏広（獣医内科学研究室）
 担当学会長：永田雅彦（どうぶつの総合病院）

教育講演：救急医療・先生、急患です！

座長：難波信一（マープル動物医療センター）

1. 「救急医療での薬物療法 ～ショックの病態と治療～」

山崎 純（獣医薬理学研究室）

2. 「重積発作」

伊藤大介（獣医神経病学研究室）

3. 「息苦しそうな症例について」

山谷吉樹（獣医麻酔・呼吸器学研究室）

4. 「DIC・敗血症」

丸山治彦（獣医臨床病理学研究室）

5. 「急性腹症」

浅野和之（獣医外科学研究室）

一般講演（口頭発表）

座長 小熊圭祐（獣医伝染病学研究室）

1. イヌメラノーマ細胞の TRPA 1 を介した細胞死における PLD 1 の関与

○久慈愛、中野令、杉村真奈、八竹直哉、難波信一、北中菜菜子、今野忠好、北中卓、高橋朋子、中山智宏、杉谷博士

2. イヌメラノーマ細胞における IL-1 β による MMP- 3 発現

○八竹直哉、中野令、久慈愛、杉村真奈、難波信一、北中菜菜子、北中卓、今野忠好、高橋朋子、中山智宏、杉谷博士

3. ウイルスおよびフィーダー細胞を使用しない

臨床グレードの犬 iPS 細胞の創生

○枝村一弥、井口青空、吉井友見、吉松祥、近藤広孝、渋谷久、塩澤誠司、岡野栄之

座長 佐藤雪太（実験動物学研究室）

4. 相模川水系ヨシノボリ属魚類におけるナガラシズコムシ *Myxobolus nagaraensis* 寄生状況

○来栖可奈、島瑞帆、日置尚之、長谷部勇太、増田絢、松本淳

5. 宿主動物種が *Mesocestoides vogae* テトラチリジウムの試験管内成虫化に与える影響

○川船美咲、西田克彦、渡邊青慈、内山真由子、増田絢、松本淳

6. 熊本県天草地域での重症熱性血小板減少症候群ウイルス (SFTSV) 浸潤状況調査

○奈良崎孝一郎、奈良崎和孝、野口慧多、立本完吾、大迫英夫、前田健

座長 大滝忠利（獣医臨床繁殖学研究室）

7. サラブレッドにおける額部旋毛の位置および数の遺伝率推定

○横森多夢、戸崎晃明、三田宇宙、三宅武、祐裕永、小林由紀、草野寛一、伊藤琢也

8. 育成乳牛の中足骨の露出を伴う皮膚欠損症例への砂糖パック療法について

○中嶋梓、大野真美子、堀北哲也

座長 浅野和之（獣医外科学研究室）

9. ネコの口腔内扁平上皮癌における放射線増感剤 SQAP の有効性について

○山田悠太、高橋舞子、合屋征二郎、高橋朋子、中山智宏

10. イヌの口腔内高分化型線維肉腫 1 症例における放射線増感剤 SQAP の有効性について

○芦谷咲耶、高橋舞子、合屋征二郎、高橋朋子、中山智宏

総会資料

平成30年度 一般会計収支決算報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 本部会費	1,200,000	1,330,000	△ 130,000	各支部より1,330名×1,000円
2. 準会員費	2,400,000	2,374,000	26,000	学部校友会
3. 学部校友会報送料	60,000	113,856	△ 53,856	学部校友会
4. 雑収入	550	1,185,013	△ 1,184,463	預金利子、病院説明会参加費
5. 前年度繰越額	1,480,450	1,480,450	0	平成29年度分
収入合計 (A)	5,141,000	6,483,319	△ 1,342,319	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 経常費	2,360,000	2,307,963	52,037	
(1) 会合費	10,000	3,170	6,830	会議等
(2) 交際費	300,000	293,056	6,944	支部総会祝い金・慶弔費・謝礼等
(3) 旅費交通費	1,000,000	1,064,550	△ 64,550	支部総会旅費等
(4) 通信運搬費	50,000	78,936	△ 28,936	通信料・郵送料
(5) 事務局運営費	1,000,000	868,251	131,749	給与・消耗品等
2. 会報費	500,000	433,536	66,464	会報34号
3. 名簿管理費	200,000	91,646	108,354	業務委託費等
4. 準会員支援費	1,100,000	974,557	125,443	新入生・卒業生記念品、懇親会招待など
5. 褒賞費	100,000	66,720	33,280	功労賞・角笛会会長賞・特別賞
6. 学会補助費	200,000	200,000	0	第56回日本大学獣医学会
7. 補助費	130,000	130,000	0	第17回日本大学医療系同窓・校友会
8. 組織拡充費	80,000	49,032	30,968	ホームページ管理等
9. 特別会計Ⅰ	0	0	0	名簿作成繰入金
10. 特別会計Ⅱ	400,000	400,000	0	将来事業繰入金・ANMEC 研究助成金
11. 特別会計Ⅲ	0	0	0	角笛会学生支援基金
12. 予備費	71,000	0	71,000	
支出合計 (B)	5,141,000	4,653,454	487,546	

平成29年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B)

1,480,450円

総会資料

平成30年度 懇親会費収支報告書

Table with 3 columns: 科目, 金額, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

平成30年度 特別会計Ⅰ収支決算報告書【名簿会計】

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

平成30年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 3,047,999 円

平成30年度 特別会計Ⅱ収支決算報告書【将来事業資金】

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

平成30年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 1,455,970 円

平成30年度 特別会計Ⅲ収支決算報告書【支援基金】

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

平成30年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 1,600,000 円

令和元年度 一般会計予算 (案)

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

*就職支援活動費を含む **今年度は休止

令和元年度 特別会計Ⅰ予算【名簿会計】(案)

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

令和元年度 特別会計Ⅱ予算【将来事業資金】(案)

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

*今年度は休止

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

*今年度は休止 **廃止

令和元年度 特別会計Ⅲ予算【支援基金】(案)

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

収入の部	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1.	角笛会学生支援基金	0	0	0	
2.	雑収入	0	0	0	
3.	繰越額	1,600,000	1,600,000	0	
収入予算合計		1,600,000	1,600,000	0	

(単位：円)

支出の部	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1.	角笛会学生支援基金	1,600,000	1,600,000	0	
支出合計		1,600,000	1,600,000	0	

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

令和元年度角笛会主催 動物病院就職説明会の開催 事務局 岡 林 堅 (平成13年卒)

令和元年6月29日(土)(令和元年度日本大学獣医学会・角笛会合同大会と同日)、獣医学科学生(準会員)のための動物病院就職説明会が開催されました。趣旨・目的に賛同し参加した動物病院40施設による個別相談ブースが用意され、学生127名が参加しました。就職活動だけでなく低学年の動物病院見学や実習などさまざまな情報交換が行われ、動物病院、学生の双方から有意義なイベントとなったと好評を得ました。



動物病院就職説明会の様子

スポーツフェスタ2019

1年次担任 壁谷 英則、岡 林 堅 (平成13年卒)

令和元年5月18日(土)に、恒例の学部新生によるスポーツフェスタが生物資源科学部グラウンドにて開催されました。今年度も獣医学科は、角笛会の学生(準会員)支援として寄贈していただいた獣医学科オリジナルTシャツを1年生、担任みんなで着用して参加しました。Tシャツは赤い生地に、表側にかわいい牛の顔と「できる獣医ダモン」、背中側に「負けないモン」とプリントされているものでした。13名の運動会係を中心にTシャツのデザインから競技出場者の選抜など準備に抜かりはなかったのですが、総合成績は12学科中12位と、獣医学科らしい(?)結果に終わりました。ただ誰一人大きなケガもなく、競技も応援もみんなで一致団結して臨む姿が見受けられ、楽しい一日となりました。



動物病院だより

動物病院長 中山 智 宏

平素より日本大学動物病院（ANMEC）の運営にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、今年度の人事面から動物病院の近況をご報告いたします。伊藤大介専任講師（平成15年3月に本学獣医学科卒業、獣医神経病学研究室）が准教授に昇進し、なお一層、神経科診療に励んでいます。一方で、大変残念なことに平成31年3月をもちまして、菅野信之専任講師および岡西広樹専任講師が退職しました。有給研修医につきましては、今年度4名の獣医師を採用し、4年目までの全有給研修医数は18名となりました。その結果、本年度は臨床教員18名、有給研修医18名、臨床支援獣医師4名、教育支援獣医師5名、動物看護師5名、薬剤師2名の体制で診療に従事しています。

教育面においては、総合参加型臨床実習が開始され、今年度で2年目となりました。本実習の概要は、これまで見学のみであった病院内での実習に代わり、診療支援として学生が患者動物に直接接触れ、また、飼い主から問診する機会を与えるものです。本実習履修にあたり、学生は5年生前期に実施される共用試験に合格した上で、獣医学支援機構から「Student Doctor」として認定されることが求められています。そして、この実習を円滑かつ有効に進めるためには、飼い主に本実習教育に対する理解を求めることが重要かつ不可欠です。そのことから、飼い主との良好なコミュニケーションを図ることに努めていく必要があります。本実習はこれまでの見学型の臨床実習と比較して、教育に労力がかかります。国公立大学と比較して圧倒的多数の学生を有する本学獣医学科においては、一定水準の教育効果を成し遂げるために教育方法の工夫が要求されます。今年度の実習は、昨年度の経験を活かし、より理想的な実習に向かって前進しているところです。また、充実した本実習を実現するためには、多くの診療症例が安定的に確保されることも求められます。どうか、開業獣医師の先生方におかれましては、教育研究機関としての当院の位置づけにご理解をいただき、引き続き症例のご紹介をお願い申し上げます。

動物病院では皆様の見学を歓迎しています。お近くにお越しの際には、是非、ご連絡下さい。

動物医科学研究センターセミナー開催報告

動物医科学研究センターセミナー開催（第139回～第147回）

第139回（H30.11.13開催）

演題：「ゲノムから見る豚丹毒菌の進化と病原性」

下地善弘先生

（農研機構 動物衛生研究部門 細菌・寄生虫研究領域）

第140回（H30.12.18開催）

演題：「高速シーケンス技術のベクター媒介性人獣共通感染症研究への応用」

中尾亮先生

（北海道大学大学院獣医学研究院獣医学部病原制御学分野）

第141回（H31.1.19開催）

演題：「日本脳炎の媒介蚊」

比嘉由紀子先生

（国立感染症研究所昆虫医科学部）

第142回（H31.2.19開催）

演題：「魚類の免疫研究から見る免疫系の普遍性と種特異性」

瀧澤文雄先生

（福井県立大学海洋生物資源学部海洋生物工学研究室）

第143回（R1.5.14開催）

演題：「伴侶動物の機能再生を目標としたイヌ体細胞の神経リプログラミングシステムの開発」

中野令先生

（理化学研究所生命医科学研究センター細胞機能変換技術研究チーム）

第144回（R1.6.4開催）

演題：「競走馬の科学～Genetics & Genomics in horses～」

戸崎晃明先生

（公益財団法人競走馬理化学研究所遺伝子分析部）

第145回（R1.7.9開催）

演題：「褐色/ベージュ脂肪細胞による糖/エネルギー代謝調節」

橋本統先生

（北里大学獣医学部獣医学科実験動物学研究室）

第146回（R1.9.24開催）

演題：「温度感受性 TRP チャネルのエネルギー代謝調節における役割」

内田邦敏先生

（福岡歯科大学細胞分子生物学講座）

第147回（R1.10.8開催）

演題：「スフィンゴ脂質と病気」

山下匡先生

（麻布大学獣医学部獣医学科生化学研究室）

獣医学科の近況

【獣医師国家試験】

第70回獣医師国家試験が平成31年2月19日、2月20日に TOC 有明4階にて行われました。

日本大学獣医学科から134名が受験し、128名が合格しました。合格率は95.5% (全国平均91.7%) でした。

【表彰、受賞】

平成30年度の卒業生のうち優等賞が若尾祐希さん、学部長賞が山本嶺花さん、嶋田拓朗さん、日本獣医師会長賞が渡邊明音さん、角笛会長賞が小宮山耀さん、谷口由佳さん、角笛会特別賞が市川快聖さんにそれぞれ授与されました。

【博士（獣医学）の学位取得者】

平成30年度 課程博士：天羽隆男氏、蜂屋佑磨氏、日高佑也氏、宮前二郎氏、宮澤龍一郎氏

論文博士：鈴木 隆氏

令和元年度 論文博士：堀切園裕氏

【退職】

津曲茂久特任教授（獣医臨床繁殖学研究室）、齋藤光芳専任講師（獣医薬理学研究室）、菅野信之専任講師（獣医内科学研究室）、岡西広樹専任講師（獣医内科学研究室）、佐藤春花実習助手（学科事務室）が退職されました。

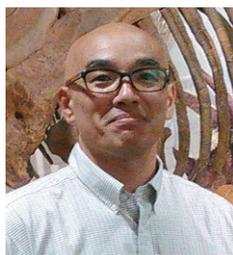
【人事・昇格】

松本淳先生（医動物学研究室）が教授に、伊藤大介先生（獣医神経病学研究室）、鈴木由紀先生（獣医衛生学研究室）が准教授に、越後谷裕介先生（実験動物学研究室）、片倉文彦先生（魚病学研究室/比較免疫学研究室）が専任講師に、木庭猫達先生（獣医微生物学研究室）が助教に昇格されました。泉對博再雇用教授（獣医伝染病学研究室）が特任教授となりました。

【新任】

本年4月に小川健司教授（獣医伝染病学研究室）が採用されました。

■ 新任の先生の自己紹介



（獣医伝染病学研究室）
小川健司教授

平成31年4月、伝染病学研究室の教授に着任致しました小川健司です。昭和58年に日本大学（当時、農獣医学部）に入学し、平成元年（つまり昭和64年）に日大の修士課程を修了しました（当時4年制から6年制への移行期で、獣医師国家試験の受験資格を得るのに、修士課程を修了（学部4年と修士2年で合計6年間……）しなければならない仕組みでした）。平成31年、つまり令和元年に日大に帰参致しましたが、考えてみますと平成の30年間をまるまる他所で過ごした訳です。その間、東大に6年、理研に24年間在籍しました。理研では、“創薬シード化合物探索基盤ユニット”と云ってドラッグスクリーニングを担当する部署に所属し、創薬のための評価系開発と化合物の大規模探索（“High throughput screening”、略して HTS と言います）を実施していました。日大では、動物の感染症を引き起こすウイルス由来のタンパク質を創薬標的と定め、その機能を可視化、数値化する評価法の開発とそれを応用した HTS による新規創薬に粉砕身致します。諸先生諸先輩方に於かれましてはご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

■ 平成30年度獣医学科入試状況

選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
A方式（第1期）	42名	712名	106名	6.7倍
A方式（第2期）	15名	379名	39名	9.7倍
N方式第1期	3名	114名	23名	5.0倍
一般推薦（公募制）	学部全体で100名	56名	23名	2.4倍
一般推薦（公募制・関連産業後継者）	学部全体で26名	20名	8名	2.5倍
校友子女推薦（公募制）	学部全体で28名	10名	5名	2.0倍

■ 学年担任（令和元年度）

- 1年次 壁谷英則教授（獣医食品衛生学）、岡林 堅専任講師（獣医生化学）、西村知良准教授（一般教養）
- 2年次 堀北哲也教授（獣医臨床繁殖学）、丸山治彦専任講師（獣医臨床病理学）
- 3年次 北川勝人教授（獣医神経病学）、小熊圭祐准教授（獣医伝染病学）
- 4年次 山谷吉樹教授（獣医麻酔・呼吸器学）、関真美子専任講師（獣医外科学）
- 5年次 五味浩司教授（獣医解剖学）、鈴木由紀准教授（獣医衛生学）
- 6年次 渋谷 久教授（獣医病理学）、高橋朋子専任講師（獣医放射線学）

トピックス

令和元年度 学部校友会総会にて中川秀樹氏を表彰 事務局 岡 林 堅 (平成13年卒)

令和元年度 学部校友会総会（令和元年7月13日）において、角笛会顧問 中川秀樹氏（昭和40年卒）が会長賞を授与されました。中川秀樹氏は長年にわたる畜産振興・公衆衛生の向上・動物福祉精神の向上に尽力された功績により平成28年に「旭日小綬章」を受章し、また角笛会会長を14年の長きにわたり務めました。



中川秀樹氏



会長賞を授与された中川秀樹氏

第18回日本大学医療系同窓・校友学術講演会の開催 事務局 岡 林 堅 (平成13年卒)

第18回日本大学医療系同窓・校友学術講演会（医学部同窓会、歯学部同窓会、松戸歯学部同窓会、薬学部校友会、獣医学科校友会・角笛会）が令和元年9月28日（土）「スポーツ」をテーマにシンポジウム形式で開催されました。第11回から共通テーマを設けており、講演後に開催する総合討論で自由な情報交換が行われました。今回は歯学部が当番幹事で、日本大学学長 大塚吉兵衛先生ご臨席を賜り、来賓としてご挨拶を頂戴いたしました。角笛会の講演は、日本中央競馬会 栗東トレーニング・センター競走馬診療所管理課長の草野寛一先生（平成9年卒）が「King of Sports（競馬）を支える科学的な活動の紹介」と題して発表しました。



講演をする草野寛一競走馬診療所管理課長



来賓挨拶をする大塚吉兵衛学長

講演会後の懇親会は、学部を超えた懇親の輪が広がっておりました。日本大学医療系同窓・校友学術講演会は毎年9、10月頃開催し、日本大学医療系学部の校友が集う唯一の講演会です。また日本獣医師会の獣医師生涯研修プログラムの単位認定がありますので、角笛会会員以外の獣医師もお誘いの上、是非ご参加ください。

◎第18回日本大学医療系同窓・校友学術講演会

日 時：令和元年9月28日（土）13：30～

場 所：日本大学会館 大講堂

司会・進行

西原英志（歯学部同窓会学術副委員長）

開会の辞 当番幹事挨拶

小幡 純（歯学部同窓会 会長）

来賓挨拶

大塚吉兵衛（日本大学学長）

第一講演 日本大学松戸歯学部同窓会

- ・スポーツに対する歯科医学の貢献

ー今東京オリンピックに向けて頑張っていることー

演者：鈴木浩司（松戸歯学部口腔健康科学講座 顎口腔機能治療学分野 准教授）

座長：飯田雅之（松戸歯学部同窓会学術担当理事）

第二講演 日本大学生物資源科学部獣医学科校友会・角笛会

- ・King of Sports（競馬）を支える科学的な活動の紹介

演者：草野寛一（日本中央競馬会栗東トレーニング・センター 競走馬診療所 管理課長）

座長：山谷吉樹（生物資源科学部獣医麻酔・呼吸器学研究室 教授）

第三講演 日本大学薬学部校友会

- ・アスリートが望む薬剤師にできること

演者：松島美菜（薬学研究所 研究協力員）

座長：林 宏行（薬学部薬物治療学研究室 教授）

第四講演 日本大学医学部同窓会

- ・スポーツから脳を守る

演者：前田 剛（医学部脳神経外科学系神経外科学分野・同麻酔科学系麻酔科学分野 准教授/医学部附属板橋病院麻酔科 科長）

座長：平山晃康（医学部脳神経外科学系神経外科学分野 教授/医学部同窓会副会長）

第五講演 日本大学歯学部同窓会

- ・スポーツ歯科医学の現在と可能性

演者：武田友孝（東京歯科大学口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室 教授）

座長：遠藤みちる（歯学部同窓会学術副委員長）

総合討論

座長：藤川謙次（歯学部同窓会学術委員長）

安藤 進（歯学部同窓会学術委員）

閉会の辞

阿部正也（次回当番学部 松戸歯学部同窓会 会長）

懇親会

司会・進行：岩崎圭佑（歯学部同窓会学術委員）

平成30年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

H30年6月2日(土)	いもづる会	中川秀樹	10月21日(日)	横浜市開業部会(本部)	鯉江洋
6月9日(土)	桜水会懇親会	中川秀樹	10月27日(土)	宮崎県支部(宮崎市)	岡林堅
7月14日(土)	学部校友会総会懇親会	鳥海弘 学科教員	10月28日(日)	福岡県支部(福岡市)	手島健次
7月21日(土)	富山県支部(富山市)	鎌田寛	11月8日(木)	神奈川県支部(本部)	学科教員
7月22日(日)	栃木県支部(宇都宮市)	山谷吉樹	11月30日(金)	山形県支部(天童市)	齋藤光芳
7月28日(土)	北海道支部(帯広市)	堀北哲也	12月16日(日)	福島県支部(郡山市)	亘敏広
8月5日(日)	北海道支部(札幌市)	鯉江洋	H31年1月10日(木)	東京角笛会	森友忠昭
8月5日(日)	高知県支部(高知市)	幅田功	1月12日(土)	沖縄角笛会(那覇市)	鎌田寛
8月19日(日)	大分県支部(大分市)	津曲茂久	1月20日(日)	長崎県支部(諫早市)	岡林堅
9月1日(土)	熊本県支部(熊本市)	津曲茂久	1月27日(日)	横浜市開業部会(横浜市)	鯉江洋
9月8日(土)	長野南信州支部(飯田市)	鯉江洋	2月3日(日)	愛知県支部(名古屋市)	小熊圭祐
9月15日(土)	京都支部(京都市)	齋藤光芳	2月8日(金)	角笛会同窓会(日獣3学会)	学科教員
10月7日(日)	埼玉県支部(さいたま市)	岡林堅	2月23日(土)	茨城県支部(水戸市)	渋谷久
10月14日(日)	岐阜支部(岐阜市)	鯉江洋 (豚コレラ中止)	2月24日(日)	千葉県支部(千葉市)	杉谷博士
10月20日(土)	岩手県支部(盛岡市)	渋谷久	3月3日(日)	群馬県支部(高崎市)	鯉江洋
			3月10日(日)	静岡県支部(静岡市)	壁谷英則

(敬称略)

令和元年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

令和元年度も昨年と同様に各支部へ教員を派遣しております(令和元年11月2日現在)。教員の派遣を希望される支部は事務局までご一報ください。

R1年7月20日(土)	岡山県支部(岡山市)	齋藤光芳	8月31日(土)	北海道支部(中標津)	大滝忠利
7月21日(日)	新潟県支部(新潟市)	丸山治彦	9月7日(土)	熊本県支部(熊本市)	鯉江洋
7月13日(土)	学部校友会総会懇親会	鳥海弘 学科教員	9月15日(日)	京都支部(京都市)	岡林堅

(敬称略)

日本獣医師会獣医学術学会年次大会(神奈川)同窓会

平成31年2月8日(金)、日本獣医師会獣医学術学会年次大会(神奈川)初日の夜、新横浜グレイスホテルにて角笛会同窓会が開催されました。非常にくださった和やかな雰囲気のもと90名もの卒業生に参加していただきました。

幹事をご担当いただいた神奈川県支部の事務局長 清水敦志先生(平成7年卒)が司会を担当し、支部長 北澤浩一先生(昭和54年卒)に挨拶をいただきました。続いて井上亮一先生(昭和50年卒、横浜市獣医師会会長)、森友忠昭先生(昭和61年卒、獣医学科主任)の挨拶があり、中川秀樹先生(昭和40年卒、角笛会名誉会員および顧問)に乾杯の音頭を頂戴し開宴しました。

会の途中、長尾壮七名誉教授(昭和27年卒、獣医衛生学研究室)の挨拶があり、また、鍋島圭先生(平成29年卒、獣医公衆衛生学研究室 博士課程)、森田聡志先生(平成30年卒、獣医食品衛生学研究室 博士課程)、関口佳さん(獣医微生物学研究室5年生)の学会発表内容の紹介をいただきましたが、森田先生の紹介の際にお父様である森田幸雄先生(昭和60年卒、東京家政大学教授)にも壇上に上がっていただき親子で息の合ったコントで会場を笑わせてもらいました。最後に、本田純先生(昭和50年卒、角笛会神奈川支部副支部長)の閉会の言葉で同窓会(一次会)は盛況のうちに終了しました。



北澤浩一角笛会神奈川県支部支部長



井上亮一先生



中川秀樹角笛会顧問



長尾壮七名誉教授

昭和27年卒業の長尾先生から獣医学科5年生の関口さんまで多くの方に集まっていただきました。普段、大学で多忙な仕事に追われている先生達も懐かしい顔ぶれに、学生の頃の笑顔に戻り楽しいひとときを過ごされたようです。なかなか全国の日大卒の獣医師が集まる機会はないので、全国の卒業生が一堂に会した今回の同窓会を企画、実行していただいた清水敦志先生に感謝の気持ちを込めてご報告させていただきます。



*肩書、学年は開催時のものです。
富宅伸幸（平成7年卒）

角笛会関連記事(支部だより)

■神奈川県支部だより

◆神奈川県支部総会および懇親会

平成30年11月8日(木)、日本大学生物資源科学部にて、支部総会および懇親会が開催されました。

出席者は、いつもと変わらぬ面々で、ちょっと寂しい感じがしました。自分が出席するようになって感じることは「若い世代の参加が少なすぎる!」です。神奈川県在住の卒業生がこんなに少ないはずがない。日本大学出身者ばかりが集まる会なのに、どうしたことだと思えます。個人情報保護法のため卒業生の情報が入手できないのも理由かと思えます。しかし、総会の開催案内が届かなければ欠席の連絡もできません。すべては人づてで入会していただくしかないのです、自分も卒業生を見つけたらどんどんお声がけしていきたいと思えます。



総会では、議案全てが全く問題なく承認されました。

総会後の懇親会は、支部長の北澤浩一先生、会長の鳥海弘先生、獣医学科主任の森友忠昭教授の挨拶に続き、事務局長の鯉江洋教授による乾杯の発声で懇親会が始まりました。

大学の先生方にも多数ご参加いただき、大変楽しく懐かしい会となりました。日頃は呑みながら語るというシチュエーションがなかなか無いだけに、大変貴重な時間となりました。同級生が大学教員という関係や、ご子息が獣医学科に在籍または受験予定という関係も見られ、不思議な雰囲気です。久しぶりに会う同級生は「学生の頃こんな体型だったっけ?」と大変貌を遂げている方がいたり、学生の頃のままの方がいたり。卒業して幾年も重ねると人生いろいろでした。私ももっと頑張らなければという気になったりと、毎回、とても刺激を受ける懇親会です。



最後は、参加者全員で集合写真を撮り、副会長の井上亮一先生からご挨拶をいただき閉会となりました。



した。各卒業年毎の同窓会も開催されているとは思いますが、神奈川県内の同胞が集まるこの支部の懇親会、年に一度の同窓会、今後益々、特に若い世代の会員に参加してもらい、楽しく有意義な会が今後益々発展して行くことを期待しています。

弓倉宏久 (平成 6 年卒)



■ 福島県支部だより

平成30年12月16日 (日)、
「市民交流プラザ(ビックアイ)
大会議室 2」にて開催。

派遣教員：亘 敏広
卒業後ゼミナール：「犬と猫の腫瘍への挑戦 犬と猫のリンパ腫に対する化学療法の実際」



■ 群馬県支部だより

平成31年 3 月 3 日 (日)、「ホテルメトロポリタン高崎」にて開催。

派遣教員：鯉江 洋



■ 長崎県支部だより

平成31年 1 月 20 日 (日)、「L&L ホテル センリュウ」にて開催。

派遣教員：岡林 堅



■ 沖縄角笛会だより 今年度の歩み

角笛会報を毎年楽しみにしておられる皆様には大変恐縮なのだが、このところかなりの誌面を沖縄支部に割いていただいている。

まるで連載か?! という勢いで投稿しているのだが、総会の活動報告には数行しか記載されていないのに、何をそんなに書くことがあるのかと聞かれば、母校の話は尽きないというのが本音である。

平成31年1月、沖縄角笛会の総会は待望の鎌田先生をお迎えして開催した。

私が在学中、鎌田先生は福田先生とともに微生物学研究室に在籍しておられ、折しも年末に福田先生が逝去されたとの一報をいただいていたので、総会の冒頭は福田先生への黙祷から始めさせていただいた。

総会終了後には、鎌田先生より学科紹介と「獣医臨床検査の新展開 一画像による迅速診断」という演題でご講演をいただいた。

実はこの演題名を伺ったとき、恥ずかしながら内容は全く予想できなかった。

ところがいざ講演を聞いてみると、その内容たるや「映画007の動画を交えて iPhone を用いた顕微鏡による白血球の計測」といったところだろうか。一応要約してはみたが、その衝撃までは伝わらないのが非常に残念である。

私が就職した頃、白血球の百分率をみるには血液塗抹を染色し、顕微鏡を見ながらチーンと音を鳴らしていたのに、鎌田先生は今の若い学生さん相手に新しい機器を使いこなしつつ、最先端の研究を進めていらっしゃるのだ。

動画を交えたスライドは非常に分かりやすく、楽しそうに解説される先生の話の話を聞いていると、当時の授業風景がありありと思い出されてとても楽しかった。

その後の懇親会でも、久しぶりにお酒をご一緒する鎌田先生は、こんなにも当時と変わらないものだろうかと思うくらい快活でエネルギッシュで、新旧織り交ぜた知識や幅広い人脈、当時の思い出から現況まで、ずっと前進を続けていらっしゃる先生ならではの会話に、会員一同とても楽しく有意義な時間を過ごさせていただいた。



沖縄角笛会の事務局長を担当させていただいてから、鯉江先生、大滝先生、鎌田先生と複数の先生方とやり取りをさせていただいたおかげで、ついに今年は本部の角笛会総会にも参加させていただくことになった。

総会と同時に開催されている日本大学獣医学会にも参加し、学生のように講義を聞かせていただいた後、いよいよ角笛会の総会、たくさんの参加者が集まる中で活発な意見が交わされていた。

詳細については事務局からの報告を参照していただきたいが、各県、各地域、事情は違えど、それぞれ日大に想いを寄せていることが垣間見えるような内容であった。

それからしばらくして、恩師である太田亨二先生の急逝の知らせが届いた。

私の在籍していた頃の臨床病理学研究室は太田先生が教授を務められており、6号館の階段を上がってすぐのところにある2階の研究室の入り口には、いつも浅野酒店から配達されるビールケースが置かれていた。

太田先生から習ったことは数多くあるが、一番教わったのはお酒の飲み方である。これがその後の私の人生においてどれだけ役に立ったかは本当に計り知れない。私の代の卒業とともに先生は現役を退かれたが、その後も教え子達が先生との懇親会を毎年開催するようになり、全国各地から先生との再会を求めて老若男女が集まっていた。大学時代もこの恒例の懇親会においても、先生の周りでは利害関係を超えた多くの出会いがあり、普段は気軽に声をかけられないような諸先生とも繋がりを持たせていただくことができた。これも一重に太田先生の教え子であったからこそであり、心から感謝するとともに、これからも先生の教え子として恥ずかしくないよう生きていきたいと思う。

さて、来年1月18日に開催予定の沖縄角笛会の総会には、森友先生に来ていただくことになった。所属支部を問わず、多くの皆様にご参加いただきたいので、沖縄でのゴルフ、じゃなくて講演会の参加申し込みは事務局まで是非ご連絡を。

(沖縄角笛会事務局長 翁長友理子)



■ 静岡県支部だより

平成最後となる角笛会総会及び講演会を3月10日(日)、静岡グランドホテル中島屋に於いて母校獣医食品衛生学研究室壁谷英則教授をお迎えし、開催いたしました。

議案につきましては別添資料の第1、2議案は原案どおり承認され、役員改選は、全員が再任となりました。



昨年度総会で、有意義な事業など実施できないかとの提案が出されたことを受けて、開園50周年を迎える「日本平動物園」と「ふじのくに地球環境史ミュージアム」での視察研修会を開催いたします。時期等は、11月下旬で、家族同伴も歓迎したいと考えております。ご案内を差し上げますので奮って参加をお願いいたします。

事務局からは、若い人たちの新規加入がほとんどなく会員が75名となり、組織の存続が懸念されることから新規会員の掘り起こしをお願いいたしました。また、会費納入が滞っている会員の処遇については、3年間を限度に自動的に支部を退会していただくことになりましたのでご承知おきください。

総会終了後、壁谷教授から最近、関心の高いジビエ関係について官民の施策などの取り組み状況やジビエを原因とする人獣共通感染症について有意義な講演をお聴きすることができました。

生食は危険!! なことを再確認いたしました。

講演会終了後、安蔵先生の乾杯で懇親会に移り、1年ぶりの再会に楽しいひと時を過ごしました。ここ数年、出席者は20名前後で固定した先生方の傾向にあります。来年は、同期や前後のお知り合いをお誘いの上、是非参加をお願いいたします。



(静岡県支部事務局長 大庭芳和)

■ 熊本県支部だより

令和元年9月7日(土)、「ホテルメルパルク熊本」にて開催。

派遣教員：鯉江 洋



■ 京都支部だより

角笛会京都支部令和元年度総会を9月15日(日)午後5時～京都タワーホテルで開催し、大学から獣医生物化学研究室内岡林 堅先生をお招きして大学の近況報告をしていただいた他、懇親会や京都タワーのスカイラウンジでの二次会と楽しいひとときを過ごしました。

角笛会京都支部は私が京都府職員となった昭和46年にはすでに活動が開始されており50年以上の歴史があるものと思われま。

会員は多いときで40名以上を数えましたが、総会の案内状を出しても返信の数が年々少なくなり、昨年度の総会では会の解散についても検討を行いました。

しかし、「少人数の飲み会でもいいから継続したい」との意見が大勢を占め会員の再登録を行ったところ12名の会員からスタートすることになりました。

高齢者ばかりの京都支部ですが、年1回の再会を楽しみに活動を続けて行きます。全国の角笛会会員の皆様、よろしくお願ひ申し上げます。

(京都支部支部長 地協準一)



後列左から(年齢):平松計久(76)、吉木研一(72)、地協準一(70)、武光 哲(78)、大八木輝男(80)、岡林 堅(42)、脇田英一(95)

角笛会関連記事(同期会だより)

■昭和60年（1985年）3月卒クラス会

平成31年2月9日（土）、横浜中華街「菜香新館」にて開催。

派遣教員：鯉江 洋



■昭和56年3月卒クラス会

平成31年2月10日（日）、アルカディア市ヶ谷（私学会館）にて開催。

派遣教員：鯉江 洋



事務局よりお願い

「支部だより」「同期会だより」を充実させるため、総会・懇親会で撮影した写真と文章をお送りください。各支部の様子を写真付きで紹介させていただきます。ご協力のほどよろしくお願いします。

支部総会に現任教員を派遣します。ご要望がありましたら、事務局までご相談ください。

角笛会関連記事(その他)

■獣生化学研究室設立40周年記念同窓会

獣生化学研究室（設立時：獣生理化学研究室）は、獣医学教育が6年制に移行したことに伴い、昭和53年に開設されました。平成30年に設立40年を迎え、平成31年2月23日に「獣生化学研究室設立40周年記念同窓会」が日本大学生物資源科学部学生食堂にて開催されました。

渡部敏先生（現：名誉教授）が立ち上げた研究室も、現在の杉谷博士先生で第4代教授となりました。同窓会には50名を超える参加があり、その中には親子2代にわたって獣生化学研究室の卒業生という方もおり、研究室の歴史を実感いたしました。

112年の歴史をもつ獣医学科には、もっと歴史の長い研究室もありますが、獣生化学研究室も50年、100年と続くことを卒業生、教員みんなで願い閉会となりました。



■ 第24回太田先生と旨い酒を飲む会

太田亨二先生が教職に就かれていた頃の臨床病理学研究室の卒業生を中心に毎年「太田先生と旨い酒を飲む会」という会が太田先生御夫妻を囲んで行われております。平成も終わろうとしている4月20日に第1期卒業の神永大幹先生のご発案により臨床病理学研究室、昭和卒業生の会が行われました。北は北海道の渡辺一憲先生から南は九州の山中裕嗣先生まで日本全国から初老の卒業生が太田先生の地元あざみ野に集結いたしました。また当日は少し御体調を崩されている先生の介添えのため長女の富子様が米国から帰国されて総勢18名が昭和に戻り楽しい時間を過ごすことが出来ました。最初お食事にも殆ど手をつけられなかった先生でしたが、会の進行とともにお顔の色艶が段々と良くなりメのお蕎麦は完食され出席者一同を安心させていただきました。最後は奈良県から御出席の大西桂史先生の音頭で「太田先生万歳」コール、秋（令和元年10月13日）の再会を約束して散会となりました。



太田先生御夫妻にはいつまでもお元気でいていただきたいと思います。

榊原一夫（昭和61年卒）

訃 報

太田亮二先生のご逝去を悼む

事務局

太田亮二先生（獣医臨床病理学研究室 元教授）におかれましては、令和元年9月2日にご逝去されました。ここにご冥福をお祈りし、謹んでお知らせいたします。なお、ご葬儀は既に執り行われ、角笛会から供花をお供えさせていただきましたことをご報告申し上げます。

福田陽一先生のご逝去を悼む

事務局

福田陽一先生（獣医微生物学研究室 元教授）（享年84歳）におかれましては、平成30年12月28日にご逝去されました。ここにご冥福をお祈りし、謹んでお知らせいたします。なお、ご葬儀は既に執り行われ、角笛会から弔電および香典をお供えさせていただきましたことをご報告申し上げます。

日本大学生物資源科学部獣医学科教員

敬称略
H31.4.1 現在

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866
電話番号：0466-84-3800(代表)

- 【獣医解剖学研究室】** 6号館 教授 五味 浩司
准教授 安井 禎
- 【獣医病理学研究室】** 6号館 教授 渋谷 久
専任講師 近藤 広孝
- 【獣医薬理学研究室】** 6号館 教授 山崎 純
専任講師 齋藤 光芳
- 【獣医微生物学研究室】** 6号館 教授 遠矢 幸伸
助手 木庭 獺達
- 【獣医生理学研究室】** 6号館 教授 金山 喜一
- 【獣医病態生理学研究室】** 6号館 教授 鯉江 洋
- 【獣医生化学研究室】** 6号館 教授 杉谷 博士
専任講師 岡林 堅
- 【分子生物学研究室】** 6号館 専任講師 成田 貴則
- 【医動物学研究室】** 6号館 教授 松本 淳
助手 増田 絢
- 【獣医臨床繁殖学研究室】** 動物医科学研究センター
教授 堀北 哲也
9号館 准教授 大滝 忠利
- 【獣医外科学研究室】** 9号館 教授 浅野 和之
准教授 枝村 一弥
専任講師 関 真美子
- 【獣医臨床病理学研究室】** 9号館 教授 鎌田 寛
准教授 加納 塁
専任講師 丸山 治彦
- 【獣医内科学研究室】** 9号館 教授 亘 敏広
准教授 坂井 学

- 【獣医放射線学研究室】** 9号館 教授 中山 智宏
専任講師 高橋 朋子
- 【獣医衛生学研究室】** 動物医科学研究センター
教授 伊藤 琢也
准教授 鈴木 由紀
- 【魚病/比較免疫学研究室】** 動物医科学研究センター
教授 森友 忠昭
専任講師 片倉 文彦
- 【獣医伝染病学研究室】** 動物医科学研究センター
教授 小川 健司
特任教授 泉對 博
准教授 小熊 圭祐
- 【実験動物学研究室】** 動物医科学研究センター
教授 佐藤 雪太
専任講師 越後谷裕介
- 【獣医公衆衛生学研究室】** 動物医科学研究センター
教授 丸山 総一
専任講師 佐藤 真伍
- 【獣医食品衛生学研究室】** 動物医科学研究センター
教授 壁谷 英則
- 【獣医麻酔・呼吸器学研究室】** 病院 教授 山谷 吉樹
専任講師 手島 健次
- 【獣医神経病学研究室】** 病院 教授 北川 勝人
准教授 伊藤 大介
- 【獣医産業動物臨床学研究室】** 9号館 専任講師 住吉 俊亮
動物医科学研究センター
助教 大野真美子

学 会 関 連 記 事

第58回日本大学獣医学会開催案内

- 日 時：2019年6月末（予定）
- 場 所：未 定
- 問 合 せ：事務局

事 務 局

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866
日本大学生物資源科学部
獣医衛生学研究室 伊藤 琢也
TEL. 0466-84-3375
E-mail : itou.takuya@nihon-u.ac.jp

* 角笛会のホームページは随時、更新されております。角笛会関係の行事予定、支部同窓会からのお知らせ、また最新の角笛会報など多くの情報を発信しております。さらにホームページから新住所の登録もできます。是非、お立ち寄り下さい。

ホームページアドレス
<http://www.tsunobue.org/>



編 集 後 記

令和になって最初の会報をお届けいたします。大学では、平成生まれの学生が卒業するようになり、21世紀生まれの学生が入学するようになりました。時の流れは早いと思いつつ、また歴史を積み重ねていく重みも感じております。

今年はいくつもの台風が日本列島を直撃し、大きな被害をもたらしました。日本大学生物資源科学部のキャンパスも台風の影響で大木が倒れる、施設のガラスが割れるなど被害を受け、また、いくつかのイベントが中止となりました。被災された方々におかれましては、復旧に向けご苦労も多いでしょうが、一日も早く平穏な生活に戻れますよう心からお祈りいたします。

角笛会会報にご意見、ご希望等がございましたら、岡林 (okabayashi.ken@nihon-u.ac.jp) もしくは、角笛会事務局 (tsunobue3@gmail.com) までご連絡ください。

今後とも、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。
令和元年11月 岡林 堅 (平成13年卒)